

## PALSAR による電離層擾乱の観測

## Observation of the ionospheric disturbance using the PALSAR

# 島田 政信 [1]; 村木 綏 [2]; 大塚 雄一 [3]

# Masanobu Shimada[1]; Yasushi Muraki[2]; Yuichi Otsuka[3]

[1] なし; [2] 名大 STE 研; [3] 名大 STE 研

[1] EORC, JAXA; [2] STEL, Nagoya University; [3] STELAB, Nagoya Univ.

2006年を最小とし、それ以降活発化していた太陽活動が地球中間圏に及ぼす影響の一つとして電離層擾乱がある。中高度軌道を飛ぶ衛星搭載用 L-band 合成開口レーダはこの擾乱の影響を受けることが知られているが、PALSAR は特に日没4時間後くらいの観測のためにその影響を大きく受け、中にはプラズマバブルによると思われる雑音が画像中にみられる。本研究では、その統計的な出現の度合い、原因等を紹介する。